



平成29年11月号 発行 阿久根市子育て支援センター 72-3939

# お芋の収穫



年長さんがツルをとり除きます。



ツルを引っ張り合って「ツルずもう」



だれのツルが一番長いか競争だ！

5月に植えたさつまいもを収穫しました。子どもたちは、芋ほりの前の作業から参加して、ツルの長さ比べをしたり、「ツルずもう」をして遊びました。そしていよいよ芋ほりです！0歳児さんは応援♪み～んなで芋ほりをしたあとは、はかりを使って重さ比べ。シートに並べたお芋さん。一番大きなお芋を見つけたのは誰だ？いもほりで、たくさん感覚を身につけた子どもたち♪この日のおやつはお芋の天ぷら～♡今年のお芋は大きさも味もバッチリでした★

阿久根めぐみこども園



どっちが大きいかな？



泥のついたとれたてのお芋……な、なに？



もはや笑いが止まりませんワハハ



## 子どもの主張はまず受け止めて

成長の過程で、かんしゃくを起こしたり、友だちとぶつかり合ったり、今まで以上に強く自己主張をするようになってきます。これは意思がはっきりしてきた表れです。まずは「〇〇なんだね」と気持ちを受け止め、言葉にしていけます。そうすることで気持ちが落ち着き、自分のなかで折り合いをつけていけるようになります。

## すくすく育て「七五三」の日

紙を伸ばし始める3歳の「髪置き」、男の子がかまをつける5歳の「袴着」、女の子が帯をつける7歳の「帯解き」、成長の節目を祝う日が七五三です。昔は「七つまでは神のうち」といわれるほど乳幼児の死亡率が高く、七五三の日には、子どもの成長を神様に感謝したそうです。子どもたちが育つ姿を、喜び合える日にしたいですね。

## 冬のおなかの風邪、どんなものがある？

感染性胃腸炎の原因となる主なウイルスは「ロタウイルス」「ノロウイルス」「アデノウイルス」などです。また、数は多くありませんが、病原性大腸菌など細菌が原因の場合もあります。症状が重くなりやすく注意が必要なのが、ロタ、ノロ、病原性大腸菌です。中でもノロウイルスは冬に流行しやすいため、冬のおなかの風邪というと、ノロウイルス感染症であるケースが多いと言えます。

### 細菌性胃腸炎

原因として多いのは、O-157などの病原性大腸菌です。下痢やおう吐などが起こり、その程度はウイルス性胃腸炎よりもやや重くなります。ただし、症状だけで細菌性かウイルス性かを見極めるのは難しく、原因菌を特定するには便の検査が必要です。

### ノロウイルス感染症

突然のおう吐から始まる場合が多く、おう吐が数日続いた後に下痢が始まり、こちらも数日続きます。ノロウイルスは感染力が強いうえに、乾燥にもよく耐えるため、おう吐物をしっかり拭き取らないと、ウイルスが乾いて空气中を浮遊し、感染が拡大する危険があります。

### ロタウイルス感染症

「白痢」ともいわれるように、白い下痢便が禿頭の胃腸炎です。下痢とおう吐が同時に進むため、脱水に注意が必要な病気です。3～5月に流行する傾向がありますが、予防接種を受けられるようになってから、発症は少なくなっているようです。

## おすすめ絵本

### わたしのひみつ

作：石津ちひろ  
絵：きくちちき  
出版社：童心社



鍵盤ハーモニカは上手に弾けないけれど、知っている歌なら誰より元気にうたえる！と、女の子がこっそり打ち明けてくれます。「～は苦手だけど、～なら得意だよ」という安心感を与えることばと、力強い絵が印象的です。

### おならうた

原詩：谷川 俊太郎  
絵：飯野 和好  
出版社：絵本館



「いもくって ぶ」思わず臭ってくるような絵と、シンプルで勢いのあることばに引き込まれます。「ぶ」「ぼ」「ぴ」「す」など、「おならうた」というだけにいろいろな音があるので、楽しめる絵本です。

### かぜの予防をしっかりと

かぜのウイルスは冬の寒さと乾燥が大好き。そろそろ流行が気になります。日ごろから予防を心がけて、元気に冬を過ごしましょう！

かぜ予防6か条

- 1 うがい、手洗い
- 2 汗をかいたらすぐ着替え
- 3 バランスのよい食事
- 4 部屋の換気と加湿
- 5 規則正しい生活リズム
- 6 人込みを避ける

太陽が沈むのも日に日に早くなり、冷たい風を感じるようになりました。朝夕は肌寒い日もありますが、日中の暖かい時間帯を選んで、お散歩に♪子どもにとって、ひらひらと舞う落ち葉や、どんぐりなどは秋の自然を感じるのもってこいです。朝夕と日中の気温差が大きくなってきたので、衣服の調節をしながら体調管理に気を付けましょう。調節するときは、基本は薄着でいて、一枚羽織るものがあると便利です。